

■本居宣長 国学者。30余年かけた「古事記伝」で国学を完成、復古思想の極限として、現代もなお大きな影響。
もとおりのりなが
・ ・ ・ ・ ・ 1730＝ 伊勢国松坂に生まれる。生家は松坂木綿を手広くあきない、江戸にも出店をもつほどだったが、
享保大飢饉・1732＝ 2歳：

ヰ船出没始 1739＝ 9歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1740＝10歳：父の死をきっかけに家運がかたむき間もなく業を廃した。
・ ・ ・ ・ ・ 1741＝11歳：本町の家を引き払い魚町1丁目の宅に移る（松阪公園に保存されている鈴屋は、この建物である）。

梅岩没・ ・ ・ 1744＝14歳：元服。
徳川吉宗隠居1745＝15歳：

忠臣蔵・ ・ ・ 1748＝18歳：山田の紙商今井田儀左衛門の養子となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1750＝20歳：今井田家を離縁して帰る。
徳川吉宗没・1751＝21歳：義兄宗五郎病死して、宣長が家督を相続する。
・ ・ ・ ・ ・ 1752＝22歳：_医師として身をたてるため、京に上り、堀景山の門に入り儒を学び、堀元厚、武川幸順に就いて医を修業した。6ヵ年にわたるこの京都遊学時代に、宣長学の土台はつくられたらしい。

源内物産会・1757＝27歳：*「排蘆小船」成る。

大岡忠光没・1760＝30歳：松阪魚町村田彦太郎の娘みかと結婚するが、すぐに離別、
・ ・ ・ ・ ・ 1762＝32歳：津分倍町草深玄弘の娘たみ（かつと改め）と再婚、
・ ・ ・ ・ ・ 1763＝33歳：長男春庭が生まれる。「紫文要領」「石上私淑言」成る。_旅の途次松坂に泊まった賀茂真淵と初めてあい、やがて入門する。
加賀千代句集1764＝34歳：*真淵の志を継ぐためか、「古事記伝」の稿を起こす。真淵も宣長に己の学統を伝うべき弟子を見いだした。国学が一つの流派として形成され、以後、古道論がようやく主軸になってゆく。
忠臣蔵大当り1766＝36歳：
明和事件・ ・ 1767＝37歳：母於勝が死去。
・ ・ ・ ・ ・ 1769＝39歳：賀茂真淵が死去。

御蔭参流行・1771＝41歳：_「直毘霊」「紐鏡」成る。
田沼意次老中1772＝42歳：

黄表紙始・ ・ 1775＝45歳：「字音仮字用格」成る。

源内獄中死・1779＝49歳：「詞の玉緒」成る。

天明大飢饉始1782＝52歳：「真暦考」「手向草」成る。

意知刺殺事件1784＝54歳：

田沼意次失脚1786＝56歳：_「玉くしげ」成る。
寛政改革始・1787＝57歳：「呵刈菰」成る。

異学の禁・ ・ 1790＝60歳：_書き続けている「古事記伝」の初秩5冊が刊行され、妙法院官より光格天皇の天覧に供せられる。

松平定信引退1793＝63歳：_「玉勝間」を書き始める。流派といっても私的なものではなかったことが、「玉勝間」の〴師の説になづまざる事〵という一文などでわかる。真淵の説の誤りに対する宣長の批判は手きびしい。

ヰ来航・1796＝66歳：「源氏物語玉の小櫛」，

古事記伝・ ・ 1798＝68歳：*「古事記伝」が完成。〴言〵の徹底的な注釈という点で他に類のないもので、古学のかぎりが尽くされている。日本語の研究史上、宣長の業績がいちじるしいのも偶然でない。
蝦夷地直轄始1799＝69歳：_「初山路」他多数。
宣長没・ ・ ・ 1801＝71歳：_病没した。

中公シリーズ「日本の名著」、「人づくり風土記(三重)」、「日本史を変えた人物200人」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、歴史有名人の死の瞬間、日本の古典名著、